

平成22年度  
9月補正予算案の概要

京 都 府



# 編成の基本的な考え方

円高をはじめとした厳しい経済・雇用情勢、記録的な猛暑への緊急対策を行うとともに、高齢者をはじめ社会的に弱い立場にある方々を守る地域包括ケアの取組など、6月補正で講じた取組を更に進め、府民生活を守るきめ細かな対策にも取り組む

## 緊急課題への対応

- ◆ 円高、経済・雇用対策
- ◆ 猛暑被害対策

## 府民生活に安心をもたらす対策

- ◆ 高齢者、障害者を守る対策
- ◆ 子育てを支える対策
- ◆ 生命いのちを守る対策
- ◆ その他生活を守る対策

# 円高、経済・雇用対策



# 中小企業・経済対策

## 中小企業円高緊急サポート事業

新

6百万円

◆「中小企業円高緊急サポートチーム」を設置し、コストダウン等の取組を支援

- ・為替リスク対応や生産管理技術の向上に取り組む企業に専門家を派遣するとともに、コストダウンに必要な設備整備に対し助成

## 小規模企業者等設備導入緊急支援事業

新

◆設備貸与に係るリース料等の負担軽減により、経営を支援

- ・小規模企業者等が京都産業21の「設備貸与事業」を活用する場合に、そのリース料等に対して助成

10百万円

## 京都産業空洞化対策事業

新

◆円高による輸出関連ものづくり産業の海外流出を防ぐため、企業立地を促進するとともに特例制度(\*)を創設

- (\*)助成限度額を従来の1.5倍に

485百万円

## 環境関連ビジネス支援事業

新

2百万円

◆学研都市企業をはじめとする環境関連中小企業の海外販路拡大を支援

・中国向けの展示会や商談会など国際ビジネス展開を支援

## 商店街活性化緊急支援事業

新

15百万円

◆円高で減少が懸念される外国人観光客の消費拡大に取り組む商店街を支援

・買い物マップ等の作成やキャッシュバックなどの取組に対し助成

## 府民公募型安心・安全整備事業

拡

5億円

◆府民の身近な安心・安全のための改修・修繕事業の増額

・府民から寄せられた提案に応えるとともに、地域経済の活性化、雇用の創出を図る



# 雇用対策

新

「パーソナルサポートセンター」の開設

全国初

35百万円

◆就労意欲のある離職者に、生活の安定から就業までを  
マンツーマンで支援

・ライフ&ジョブカフェ来所者等を対象に、「パーソナルサポーター」による寄り添い型・伴走型の継続的な支援を実施

(開設場所) 京都ジョブパーク

国の経済対策の先取り  
\* 11月からスタート

## 立地企業雇用促進緊急事業

新

14百万円

◆補助金・融資を組み合わせた立地支援で地域の雇用を確保

地元雇用数 125人

## 北部地域就業支援事業

新

6百万円

◆厳しい雇用情勢が続く北部地域において、兵庫県、福井県のハローワークとの共同による合同就職面接会を実施

## 「京の技能者」未来を担う人づくり推進事業

新

20百万円

◆ものづくり産業の担い手となる人材の雇用確保と育成

・「京都府の現代の名工」事業所等での研修により、技能者を育成

15人雇用

# 猛暑被害対策





# 猛暑被害対策

## 農作物等被害対策

臨

29百万円

- ◆ 秋冬野菜(大根・かぶ等)生育安定対策
- ◆ 茶・果樹(梨、栗、イチジク、柿等)樹勢回復、改植対策
- ◆ 種子(豆類)・種苗(アワビ)・家畜(乳用牛、ブロイラー)安定確保対策

## ナラ枯れ対策

臨

10百万円

- ◆ 猛暑で被害が深刻化しているナラ枯れへの対応
  - ・人家裏等の危険箇所について、伐倒駆除を府市協調で実施

## 野生鳥獣対策

新

66百万円

- ◆ 地域協働で進める緊急広域防除対策
  - ・猛暑によるエサ不足に伴う鳥獣被害の増加に備え、野生鳥獣が近寄らない忌避作物の栽培と広域防護柵を組み合わせた対策を実施

府民生活に安心を  
もたらす対策



# 高齢者、障害者を守る対策

## 京都式地域包括ケア推進事業

拡

6月補正に  
続く第2弾

- ◆ 介護・医療連携ケア推進事業
  - ・全ての特養で、たんの吸引等医療的ケアを提供できる人材を養成
- ◆ 高齢者ふれあい訪問推進事業
  - ・民生委員による高齢者世帯の一斉見守り訪問・相談活動の実施
- ◆ 特別養護老人ホーム等整備促進事業
  - ・地域包括ケアの推進に向け、既存の助成に加えて、新たに地域連携相談室やデイサービス等を備えた特養や老健の施設整備に対し助成
- ◆ 医療施設設備整備事業
  - ・在宅生活や医療機関での医療ケア充実を図る設備・機器整備に対し助成
- ◆ 障害者施設整備事業
  - ・多機能型事業所やグループホーム等、障害者の地域生活を支える施設の整備に対し助成

817百万円



# 子育てを支える対策

## きょうと子育て環境整備事業

拡

287百万円

### ◆待機児童解消促進事業

309人の定員増

- ・地域の保育ニーズに応える保育所の新設・増改築、年度途中にも弾力的に受入が可能な施設整備に対する助成

### ◆放課後児童クラブ等整備事業

100人の受入れ増

- ・児童クラブの新設等に対する助成



いのち

# 生命を守る対策

## 子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業

新

- ◆高額ながん予防ワクチンの接種費用に対する助成
  - ・予防効果の高い年齢での接種を促進するため、市町村と協働(1:1)でワクチン接種事業を実施

31百万円

## 新型インフルエンザワクチン接種助成事業

- ◆再流行を防ぐため、ワクチンの接種費用に対して助成
  - ・低所得者のワクチン接種に要する経済的負担を軽減するための助成

230百万円



# その他生活を守る対策

## 「ヒヤリ・ハット情報」活用推進事業

新

76百万円

- ◆府民参加型の安心・安全なまちづくりを推進
  - ・身近な防犯・交通安全に係る危険情報を募るシステムを開発
  - ・得られた情報をもとに、地域協働で行う安心・安全の取組や危険箇所の解消につなげる

## 消費生活相談充実事業

新

3百万円

- ◆専門資格・実務経験を持った相談員の育成・配置
  - ・増加する高齢者を狙った架空・不当請求等の相談に対応するため、即戦力の人材を市町村と協働で育成・配置を進める

## おひさまエコタウン応援事業

新

150百万円

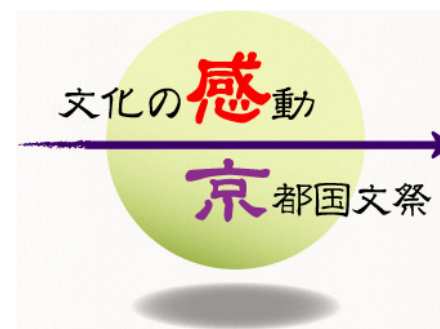
- ◆住民、NPO、市町村、事業者等が行う環境活動を支援
  - ・地球温暖化対策条例の改正に合わせ、府、市町村、地域住民、NPO、事業者等が参画する「地球温暖化対策地域協議会」を設置し、太陽光発電設備等を活用した環境学習やエコ活動を促進

その他事業



# その他事業

## 国民文化祭のカウントダウン



### ◆国民文化祭発信力アップ事業 (拡)

19百万円

- ・10月から始まるプレ国文祭と連動して開催気運を盛り上げ
- ・テレビ等メディアや市町村と連携した各地のイベントで強かにPR

### ◆高校生伝統文化はぐくみ事業 (新)

5百万円

- ・茶道の専門家による授業を10校で先行実施

\* 国文祭開催年となる来年は全校で実施





## きょうと婚活支援ネットワークづくり事業

新

◆出会いの場づくりを行う市町村、NPO等のネットワークの構築

1百万円

## 「丹後・食の王国」拠点づくり事業

新

◆「丹後・食の王国」構想の拠点となる「丹後あじわいの郷」において、地域の豊富な食材の販売、加工、情報提供を開始

7百万円

## 製茶機械整備支援事業

新

◆宇治茶ブランドを支える茶農家の経営を支援するため、高品質かつ低コスト生産が可能な設備導入に対し助成

26百万円



# 補正予算の規模

一般会計 2,622百万円

9月補正後予算額 885,046百万円

参 考 : 21年9月補正後 932,643百万円

国の経済対策に係る基金積立金を除くと  
898,022百万円